

令和7年(2025)5月30日

令和7年度(2025)

第2回出雲市議会(定例会)
施政方針質問通告一覧表

令和7年度(2025)第2回出雲市議会（定例会） 施政方針質問通告一覧表 目次

5月30日（金） 10:00開会			
順 番	会 派 名	議 員 氏 名	ページ
1	真 誠 ク ラ ブ	萬 代 輝 正	3～6
2	平 成 ク ラ ブ	長 廻 利 行	7～9
3	政 雲 ク ラ ブ	湯 淺 啓 史	10、11
4	公 明 党	錦 織 稔	12、13
5	市 民 ク ラ ブ	大 谷 良 治	14～16
6	日 本 共 産 党	後 藤 由 美	17～19

質問者	27	真誠クラブ 萬代 輝正
質問事項・質問内容		
(1) 市政運営のポイントについて		
① 「人口減少対策」について ア 「高校ネットワークコーディネーター制度」とはどのようなものなのか、具体的に誰が、どんな予算を充てて制度を進められるのか伺います。 イ 保育所の施設整備による受入枠の拡大について触れられているが、入所未決定児が年度途中で解消できない現状が何年も続いています。周辺部の定員にも配慮しながら、どのような考え方で進めていくのか伺います。 ② 「中山間地域振興」について ア 「元気・やる気・地域応援補助金」についての効果をどう評価されているのか、今後の拡充内容についても伺います。 ③ 「D X（デジタルトランスフォーメーション）の推進」について ア 利便性の高い窓口サービス改革に取り組まれているが、現状では市民に実感として享受できていません。今後の具体のスケジュールを伺います。 イ 「（仮称）いずもデジタルスタジオ」の整備とは、どんな人が利用でき、どんな方が運用し、育成によってどんな効果を期待するのか伺います。 ④ 「脱炭素社会の実現」について ア 個人住宅のZ E H（ゼッチ）化の現状と今後の支援内容について伺います。 ⑤ 「防災・減災対策」について ア 「市街地水害対策室」を設置されました。道路河川維持課の課長補佐が室長を兼務されておりますが、対策室の人員体制について伺います。 イ 県と連携して「出雲市街地の緊急浸水対策」が打ち出されました。対策の概要と今後の進め方について伺います。 ウ 島根半島の防災対策の強化として、ヘリポートの整備を予定されていますが、日御碕地区における県道崩落の教訓を踏まえ、日御碕地区への現状の復旧状況と今後の整備予定、ヘリポートの整備の現状と今後の整備予定、並びに予算の詳細を伺います。		

(2) 主要施策・主要事業 ともに創る

① 「海・山・大地の恵みを生かす」について

ア 出雲農業未来の懸け橋事業について、ハード整備や機械購入等、様々な場面で物価の上昇がみられる中で、J Aしまね出雲地区本部連携のもと、総予算の拡充について、今までの変遷と今後の増額の考えがないか伺います。

イ 水産業において、出雲の海の魅力を発信するとのことですが、具体的にどんな魅力を、どのような目的で、どこに向けて発信されるのか伺います。

ウ 林業について、「攻めの林業」政策を進めるうえで、森林環境譲与税などの予算（財源）も含めて具体的な政策を伺います。

② 「地場企業が地域を支える」について

ア 企業の業務のD X化や効率化を支援されるとのことですが、具体的に予算（財源含め）と概要を伺います。

イ 中学生に向けた、職業体験イベントの開催について検討する必要があると思いますが、市の考え方を伺います。

③ 「人財力で地域産業を前へ」について

ア 工科系大学等の高等教育機関の誘致の可能性と市との関わりについて伺います。

(3) 主要施策・主要事業 ともに守る

① 「誰もが『安全・安心』に暮らせるまちに」について

ア 「空き家対策の総合ウェブサイト」の開設について、運用管理者や概要について伺います。

(4) 主要施策・主要事業 ともに結ぶ

① 「期待（来たい）が膨らむ観光のまち出雲」について

ア 宿泊税等の導入を検討するとのことですが、市としての導入に向けての熱量を伺います。

イ シェアサイクルやグリーンスローモビリティの本格運用を開始されますが、今後の展開をどのように考えているのか伺います。

② 「ヒト・モノ・コトを短時間でつなぐ」について

ア 「境港出雲道路」について、8の字ルート圏域の状況とあわせて展望を伺います。

(5) 主要施策・主要事業 ともに支える

- ① 「『産みたい』『育てたい』を応援」について
ア 官民連携の自然体験活動等を行う交流事業を、新たに実施するとのことですが、具体的にどういうことなのか伺います。
- ② 「ぬくもりある福祉サービスを」について
ア 障がい者やその家族などの相談窓口として「出雲市障がい者基幹相談支援センター『あんど』」の開設にあたり、その人員体制や詳細を伺います。
- ③ 「出雲のインフラを整え『安心』を支える」について
ア 一畑電車について、「一畑電車支援計画」に基づいた利便性の向上は理解するものの、沿線住民にとって喜ばれ、利用者増がはかれる施策が重要と考えます。今後、それぞれの駅周辺の開発が必要と考えますが市の見解を伺います。
- ④ 「デジタルの力で未来をデザイン」について
ア 「いずも縁結びPAY」について、行政ポイントの付与の対象や手続きの流れ、今後の展開を伺います。

(6) 主要施策・主要事業 ともに育む

- ① 「家庭・地域・学校で育む出雲の教育を」について
ア 不登校対策での、校内教育支援センター「ほっとルーム」の体制強化とは、どのような課題に対して、どのように対策を強化されようとしているのか伺います。
イ ICT活用教育について、「教育DX担当」を委嘱するとのことですが、実際にどのような方が、どんなことを進めていくのか伺います。
ウ 中学校部活動の地域連携と地域移行について、検討を進めるとのことですが、現状をどのように把握されているか伺います。
エ 学生を受け入れる下宿等の事業者支援について詳細を伺います。
- ② 「人が地域を、地域が人を育てる」について
ア 持続可能な自治会活動に向けて、実施してきた政策について、効果的なものがあつたのか伺います。
イ 自治協会の運営について、DXで出来ることがあるのではないかと思います。考えを伺います。

(7) 主要施策・主要事業 とともに楽しむ

- ① 「芸術文化で豊かな出雲を」について
 - ア 文化施設について、今後の整備予定や市民の声をどのように把握されているのか伺います。
- ② 「スポーツで元気な出雲を」について
 - ア 令和12年開催予定の国民スポーツ大会及び全国障がい者スポーツ大会に向けての出雲市の取組を、県及び関係団体含めてのソフト体制・ハード整備について伺います。
- ③ 「誰もの『学びたい』を実現」について
 - ア 講座の実施を主催することもあります、市内で様々な分野でご活躍の方々を人材バンクとして登録し、コミュニティセンターや自治協会、企業研修や高齢者団体等への紹介窓口をインターネット上で創設してはと思いますが、市の考えを伺います。
- ④ 「出雲の魅力、発信します」について
 - ア 「出雲市シティプロモーション戦略」の策定とは、だれが、いつから、どのように、どこへむけてプロモーションをされるのか具体的に伺います。

質問者	30	平成クラブ	長廻 利行
質問事項・質問内容			
(1) 所信について			
① 「出雲力」について ア 市長の考える他に誇れる総合力「出雲力」とは何か具体的に説明いただきたい。また、「出雲力」の活用については、市民の協力と理解が必要と考えるが、具体的にどのような方法で浸透・実施されるのか伺う。			
(2) 市政運営のポイント「人口減少対策」について			
① 出雲を担っていく人材について ア 「高校ネットワークコーディネーター制度」の具体的な内容を伺う。 イ ふるさと出雲への愛着や誇りを持ってもらえるよう、これまで市長は中学校訪問をされてきたが、その効果をどのように評価されているか伺う。 ② 子育てしやすい社会環境づくりについて ア 若い世代のアイデアを取り入れた婚活イベントとはどのようなものが想定できるのか伺う。 イ 子育て世代の経済的負担を軽減する施策について、これまでの実績と今後の施策について伺う。			
(3) 市政運営のポイント「中山間地域振興」について			
① 中山間地域における様々な振興策について ア 地域おこし協力隊のこれまでの実績と今後の活用について伺う。 イ 地域の未来を示す「まちづくりビジョン」とはどのようなもので誰が策定するのか。			
(4) 市政運営のポイント「防災・減災対策」について			
① ハード・ソフト面での防災・減災対策について ア 救助救援の輸送が速やかにできるヘリポートは市内のどこに何カ所あるのか、管理はどこが行っているか伺う。 イ 「災害時協力井戸制度」の具体的な活用方法を伺う。			

(5) 主要施策・主要事業「ともに創る」について

- ① 海・山・大地の恵みを生かすについて
 - ア 出雲の「ぶどう」の現状と将来性について伺う。
- ② 地場企業が地域を支えるについて
 - ア 中心市街地等の賑わい創出を図るための空き店舗の出店、高校生との協働による取り組みについて、どのようなものが想定されているのか伺う。
- ③ 人財力で地域産業を前へについて
 - ア 外国人住民の就職支援について、これまでの成果とそれを踏まえた対策について伺う。

(6) 主要施策・主要事業「ともに守る」について

- ① 誰もが安心・安全に暮らせるまちについて
 - ア 防災行政無線の加入については、地域によって相当の格差があると思われるが、全体に広げる施策が必要であり、その考えを伺う。
 - イ 空き家対策について、空き家の利活用の実態について伺う。

(7) 主要施策・主要事業「ともに結ぶ」について

- ① 期待（来たい）が膨らむ観光のまち出雲について
 - ア 観光基本計画に基づくアクションプランについて、その内容と策定時期、また、マーケティング戦略の支援内容について伺う。
 - イ 「（仮称）大社新駐車場」の整備計画について、その内容とスケジュールについて伺う。
 - ウ 財源確保策としての宿泊税等の導入について、検討組織とタイムスケジュール、課題等があれば伺う。
- ② いにしへの「財（たから）」を守り、活かすについて
 - ア 旧大社駅の運営と保存活用について、現時点での検討内容について伺う。

(8) 主要施策・主要事業「ともに支える」について

- ① 「産みたい」「育てたい」を応援について
 - ア ヤングケアラーについて、出雲市の実態について伺う。
- ② 誰もが大切にされる社会をめざしてについて
 - ア 今後、ますます外国籍住民が多くなることが予想される中で、多文化共生推進の重要性はすべての市民が認識すべきと考えるが、市全体への啓発・広報はどのように考えているか。

(9) 主要施策・主要事業「ともに育む」について

- ① 家庭・地域・学校で育む出雲の教育をについて
 - ア 「今後の市立幼稚園のあり方に関する基本方針」は地域の実情を考慮して再編するとあるが、何年目標で計画を考えているのか伺う。
 - イ 校区外から通学できる小規模特任校制度の導入について、詳細な制度の内容について伺う。
- ② 人が地域を、地域が人を育てるについて
 - ア 自治会加入促進の検討委員会の検討内容と具体的な負担軽減策の取組を伺う。

(10) 主要施策・主要事業「ともに楽しむ」について

- ① スポーツで元気な出雲をについて
 - ア 出雲駅伝など大型スポーツイベントを実施することでどんな効果が期待できるか伺う。
- ② 出雲の魅力、発信しますについて
 - ア 出雲市シティプロモーション戦略を策定する目的とその活用について伺う。

質問者	21	政雲クラブ 湯浅 啓史
質問事項・質問内容		
(1) 市政運営のポイント		
① 「人口減少対策」雇用の場の創出 ア 人口減少対策として、第一に雇用の場の確保が掲げられており、「選ばれるまち」として更なる社会増につながることを期待している。 一方で土木・建築業や農業、介護などの分野で人材不足が深刻となっており、人材の偏り、ミスマッチが起こっている。この状況をどのように分析しているか。また、人材の偏り解消にどのような施策を実行するのか。 (ともに創る－「人財力で地域産業を“前に”」とも関連) ② 「人口減少対策」安心して子育てできる環境づくり ア 結婚支援、子ども医療費助成、保育所の受け入れ拡大、児童クラブの拡大などの人口減少対策は、これまでも不十分であったとは考えないが、近年の出生数の減少は憂慮すべきレベルと考える。 出生数増加のカギはどのような施策にあると考えるか。 (ともに支える－「産みたい」「育てたい」を応援とも関連) ③ 「防災・減災対策」市街地水害対策室 ア 内水氾濫は市内の多くの地域で起こっており、住民にとっては市に包括的な窓口が必要と考える。 新設された「市街地水害対策室」は、包括的な窓口機能を持ち、他の部署との連絡調整が可能となるのか。		
(2) 主要施策・主要事業		
① 「ともに創る」地場産業が地域を支える ア 市内地域経済の活性化に向け導入された「いずも縁結びP A Y」は地域経済の起爆剤となるよう活用しなければならないと考える。改めて導入の意義と目的を伺う。 イ 「いずも縁結びP A Y」は現在コンソーシアムに委託して運営されている。活用及び運営について、将来像をどのように設定しているか。 ② 「ともに支える」出雲のインフラを整え「安心」を支える ア コンパクト・プラス・ネットワークの実現に向けた「立地適正化計画」の策定が、今年度から進められるが、その目的や意義が浸透していないのではないかと感じる。改めてコンパクト・プラス・ネットワークを推進する意義と目的、立地適正化計画で何を規定するのか伺う。 イ インフラを整え「安心」を支えるためには、老朽化した公共財産の補修や長寿命化や管理点検業務も必要。道路、橋梁、河川、水路、街路樹、街路灯、公園（遊具を含む）、上下水道ほか、手をかけるべき分野は広範囲になるが、どのように進めていく考えか。 ウ 公共財産の補修や長寿命化や管理点検業務の財源をどこに求める考えか。		

(3) 行財政改革

① 市の財政状況は、今後の財政需要をまかなえるのか

ア 2024年度12月議会で示された「中期財政計画（2025～2027年度）長期財政見通し（2028～2034年度）」では、「歳出規模を2034年までの計画期間後半には800億円前半の水準とする」とされている。

インフラの整備、既存公共財産の老朽化への対応、結婚支援、子ども医療費助成、保育所の受け入れ拡大、児童クラブの拡大などを含む子育て支援、教育施設の整備、内水氾濫対策ほかの防災・減災対策、など財政需要は膨らんでいる。

特に扶助費の増加は顕著であり、市税の増加やふるさと納税の増加でカバーしきれない額となっている。

施政方針に示された事業を着実に実施するために、どのような行財政改革を実施するのか伺う。

質問者	19	公明党 錦織 稔
質問事項・質問内容		
(1) 市政運営のポイントについて		
① 「人口減少対策」について伺う。 ア 地域経済の活性化を図ることで、どの程度の雇用を見込んでいるのか伺う。 イ 「選ばれるまち」になっているとのことだが、要因をどのように分析しているのか伺う。 ウ 「高校ネットワークコーディネーター制度」の中身を伺う。 ② 「中山間地域振興」について伺う。 ア 最新技術を活用した遠隔診療の実証事業において、受診する側の利点を伺う。 ③ 「DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進」について伺う。 ア AIを活用した高齢者の見守り電話サービスの実証事業の対象地域や詳細を伺う。 ④ 「脱炭素社会の実現」について伺う。 ア 個人住宅のZEH化について、ゼロカーボンシティに挑戦するのであればリフォームも対象とすべきと考えるが認識を伺う。 イ 環境にやさしい農業の詳細について、例えば、有機農業を行うには何年か準備期間も必要だが、他の農法も考えているのか伺う。 ⑤ 防災・減災対策について伺う。 ア 県管理河川の改修について、現在、新内藤川、赤川、午頭川などは少しずつ進んでいるが、十間川、保知石川などの県管理河川の本格的な改修の見通しを伺う。		
(2) 主要施策・主要事業 ともに創る		
① 「海・山・大地の恵みを生かす」について伺う。 ア 斐伊川から安定した農業用水の確保に向けた検討をするとのことだが、検討内容を伺う。 ② 「地場企業が地域を支える」について伺う。 ア 「NPO法人ミライビジネスいずも」において、DX化や効率化について地場企業のニーズをどのようにリサーチしているのか伺う。 ③ 「人財力で地域産業を“前へ”」について伺う。 ア 工学系大学等の高等教育機関の誘致活動の進捗を伺う。		

(3) 主要施策・主要事業 ともに守る

- ① 「誰もが『安心・安全』に暮らせるまち」について伺う。
 - ア 広域避難計画の実効性の向上に必要な避難道路の整備や受入れ自治体の課題を伺う。
- ② 「未来に向けた脱炭素社会へのチャレンジ」について伺う。
 - ア トキ放鳥への機運醸成に向けた取り組みはシンポジウム開催以外に何か考えがあるのか伺う。

(4) 主要施策・主要事業 ともに結ぶ

- ① 「期待（来たい）が膨らむ観光のまち出雲」について伺う。
 - ア 「JAPAN EXPO Paris 2025」で本市がどのように紹介されるのか伺う。また、誘客の回り方を伺う。
- ② 「あのまち・このまち 出雲を結ぶ」について伺う。
 - ア 台湾・インドとの経済交流について、この2つの国を選択した経緯を伺う。
 - イ 本年4月に加入した「広島広域都市圏」において、産業分野における連携事業の詳細を伺う。

(5) 主要施策・主要事業 ともに支える

- ① 「いつまでも元気、ずっと現役で」について伺う。
 - ア 帯状疱疹ワクチンの定期接種について、今年の該当者の人数。60～64歳で、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能の障がいがあり日常生活がほとんど不可能な方への周知方法を伺う。
- ② 「出雲のインフラを整え『安心』を支える」について伺う。
 - ア コンパクト・プラス・ネットワークの実現に向け、「立地適正化計画」を策定することによる利点を伺う。

(6) 主要施策・主要事業 ともに楽しむ

- ① 「出雲の魅力、発信します」について伺う。
 - ア 「企業版ふるさと納税」の効果的なPR活動の詳細を伺う。

質問者	20	市民クラブ	大谷 良治
質問事項・質問内容			
(1) 「所信について」			
① 所信について伺う。 ア 市政のコンダクターの役割として本市の潜在力（強み）をどこに見ているのか伺います。			
(2) 市政運営ポイントについて「人口減少対策」			
① 人口減少対策について伺う。 ア 各産業の人材確保に向けた取組みの一つとして、湖陵地域の新工業団地整備に向けた、基本計画の策定期間はいつ頃を目指しているのか伺います。 イ 地場企業の生産性向上や、経営基盤強化支援について a これまでの取組みと成果等について伺います。 ウ 「高校ネットワークコーディネーター制度」の導入 a 制度内容について伺います。 エ 移住の促進に向けた取組みについて a 新婚・子育て世帯及び独身Ｉターン者への家賃助成、東京圏からの移住支援や住宅リフォーム等助成の取組み内容について伺います。			
(3) 市政運営ポイントについて「中山間地域振興」			
① 中山間地域振興について伺う ア 「地域おこし協力隊」の増員数、「元気・やる気・地域応援補助金」の拡充内容について伺います。 イ 「地域支援員等による伴走支援」及び「まちづくりビジョン」の策定に係るサポート体制について伺います。 ウ 遠隔診療の実証事業と、介護予防や生活支援サービスを行う団体への支援強化の内容について伺います。			
(4) 市政運営ポイントについて「DX（デジタルトランスフォーメーション）」			
① DXの推進について伺う ア 「窓口に行かなくてもよい」「待たなくてもよい」「申請書を書かなくてもよい」利便性の高い窓口サービスについて、仕組みをわかりやすく示すとともに、改革に向けたスケジュールと、またマイナンバーカードの保有状況についても伺います。 イ AIを利用した高齢者の見守り電話サービスの実証事業 a 事業内容について伺います。			

(5) 市政運営ポイントについて「脱炭素社会の実現」
① 脱炭素社会の実現について伺う ア 再生可能エネルギーの導入について a 住宅用太陽光発電設備等の導入や民間事業所への設備導入、個人住宅のZEH化の目標値について伺います。
(6) 市政運営ポイントについて「防災・減災対策」
① 防災・減災対策について伺う ア 斐伊川、神戸川の治水対策を国に働きかけるとともに、県管理河川の改修の推進を県に強力に働きかけるとのことですが意気込みを伺います。 イ 能登半島地震、日御碕地区における県道崩落の教訓を踏まえ、半島防災を速やかに行うべく、ヘリポートを整備し防災強化していくとありますが、今後の整備スケジュール等について伺います。
(7) 主要施策・主要事業 ともに創る「海・山・大地の恵みを生かす」
① 農業振興・担い手確保対策等について ア 農業の維持・振興において、担い手確保対策は重要な課題となっています。本市における取組みの現状と課題について伺います。 イ 環境にやさしい農業の取組みについて a 有機農業に取り組んでおられる農家への支援、環境にやさしい農業に対する支援など、現状の取組みについて伺います。
(8) 主要施策・主要事業 ともに創る「地場企業が地域を支える」
① 地場企業が地域を支えるについて伺う ア 地域通貨「いずも縁結びPAY」を活用したプレミアム商品券事業を実施するとありますが、具体的な内容をお示しいただくとともに、現在の「いずも縁結びPAY」の加盟店登録状況と利用登録者数をお伺いします。 イ 中心商店街等の賑わい創出を図るため、これまでの空き店舗への開業支援の実績と継続的支援について伺います。
(9) 主要施策・主要事業 ともに創る「人財力で地域産業を“前へ”」
① 工科系大学等の高等教育機関の誘致活動について ア ものづくり産業が集積する出雲市において、地域の貴重な人材を地域に根差したものづくりの場で、製品研究・開発などに生かしていくことは重要です。 a 誘致活動の手法と市長の想いを伺います。
(10) 主要施策・主要事業 ともに守る「未来に向けた脱炭素社会へのチャレンジ」
① 未来に向けた脱炭素社会へのチャレンジ ア デコ活の普及の取組みについて伺います。 a 「デコ活」認知度向上へのこれまでの取組みについて伺います。

(11) 主要施策・主要事業 ともに結ぶ「期待（来たい）が膨らむ観光のまち出雲」

① 宿泊税の導入の検討について

ア 新たな財源確保策で宿泊税導入検討に至った経緯等について伺います。

- a 導入検討への背景等
- b 今後の観光地域づくりへの展望
- c 具体的な制度設計など
- d 導入までのスケジュール感
 - i 検討委員会やワーキンググループなどの設置
 - ii 宿泊事業者等との調整など

(12) 主要施策・主要事業 ともに結ぶ「あのまち・このまち 出雲を結ぶ」

① あのまち・このまち 出雲を結ぶについて

ア 台湾、インドとの経済交流で、期待する経済効果、これまでの取組み・実績を伺います。

(13) 主要施策・主要事業 ともに支える「いつまでも元気、ずっと現役で」

① 「いつまでも元気、ずっと現役で」

ア 带状疱疹ワクチンの定期接種にあたり、対象年齢の設定等について伺います。

(14) 主要施策・主要事業 ともに支える「ぬくもりのある福祉サービスを」

① ぬくもりのある福祉サービスについて

ア 新たな「出雲市障がい者基幹相談支援センター『あんど』」の具体的な取組みと、対応される人材の活用策と確保対策について伺います。

イ 18歳以上の軽度・中等度難聴者を対象とした、補聴器購入助成制度の内容等について伺います。

(15) 主要施策・主要事業 ともに支える「出雲のインフラを整え『安心』を支える」

① 「出雲のインフラを整え『安心』を支える」

ア 市役所周辺の公共施設のあり方について

- a 中心市街地の活性化につながるよう速やかに検討を進めるとされていますが、旧市役所跡地や旧出雲市体育館等の活用についての考え方について伺います。

質問者	17 日本共産党 後藤 由美
質問事項・質問内容	
(1) 施政方針策定にあたっての、市長の政治姿勢について	
① 「所信」全般について ア 今市民は長引く物価高騰に苦しみ、悲鳴を上げている。日本共産党が取り組んだアンケートには、「スーパーで値引きシールが貼られてから買い、それを冷凍し少しずつ食べている」「出かけないようにし、車は2台を1台にした」などの声が寄せられ、7割の人が「生活が苦しくなった」と回答された。この状況のもとで、市民の暮らしと命をどう守るのが一番問われている。市長は諸課題に対し「出雲力」を最大限活用し難局を乗り越えると表明されたが、今の市民の暮らしの実態をどう認識しているのか、伺う。 イ 今の暮らしの困難の根底に「失われた30年」という大問題がある。30年間賃金が上がらず、年金は目減り、消費税と医療・介護の負担が繰り返し増やされたところに、物価高騰が襲いかかってきた。市民の苦しみの根底には、暮らしに寄り添わない国の悪政がある。この時、市としては住民の福祉の充実を最優先にすべきと考える。市長はどう認識しているのか伺う。 ウ 物価高から暮らしと地域経済を守るためにも、緊急に消費税を5%まで減税すること、中小企業の賃上げ、年金引き上げ、医療・介護の危機打開などが緊急に求められている。とりわけ今、消費税減税は国民的要求になっている。まず、消費税減税を市長としても国に要求するよう求めるが、所見を伺う。	
(2) 「人口減少対策」のあり方について	
① 新工業団地整備について ア 雇用の場の確保に取り組むとして、企業団地の完成や新工業団地整備に向けた基本計画策定などを進めるとされている。しかしこれらの取り組みや大企業への優遇制度などが、市内各産業の人手不足に拍車をかけている現状を、どう受け止めているのか伺う。 イ 新たな工業団地造成より優先されるべきは、地元業者・地場産業への思い切った支援だと考えるが、認識を伺う。 ② 「各産業の人材確保に向けた取り組みや課題の解決を支援する」について ア 「各産業の人材確保」「課題の解決」と言う時、医療・介護・福祉・保育現場に大きな課題がある。労働に見合わない低賃金のもと、懸命に働く労働者は市民にとって宝の存在である。「人手不足」「低賃金」という課題解決のため、具体的にどういう支援をしようとしているのか伺う。	

(3) 中山間地域と農業振興について

① 中山間地域への移住・定住策について

ア 今、市内周辺部と言われる所での人口減少が著しい。中山間地域・周辺部への移住・定住策支援を思い切ってとり、中山間地域・周辺部などへ県外から移住する新婚・子育て世帯、独身Ｉターン者への特別な家賃助成などを進め、中山間地域・周辺部の厳しい現状を打開すべきと考える。認識を伺う。

② 基幹産業である農業施策について

ア 中山間地域の農業の営みは市民の食料や命・暮らしを支える大事な産業である。その時、昨年の米不足に続き、現在の米価高騰は家計を圧迫させている。消費者だけでなく米農家の苦悩も深刻である。米の価格高騰の原因は米の需給と価格の調整を３０年にわたり市場まかせにしてきたことにあり、需要が毎年減ることを前提に生産削減を農家に押しつけ、米農家の離農を加速させてきた。これは国の農政の失敗にあると思うが、市長の認識を伺う。

イ 出雲市の第一次産業である農業で生業が保障され、後継者作りにつなげるためにも、農家の所得補償と農産物の価格保障に政府が責任を果たすよう、市から強く要請すべきである。所見を伺う。

(4) 安心して子育てできる環境づくりについて

① 経済的支援について

ア 安心して子育てできる環境づくりにとって一番求められているのは、現在の物価高騰のもと経済的支援策を強化することである。中でも「子どもの医療費助成」をさらに引き上げ、１８歳まで窓口負担ゼロを求める要求が一番強い。市の決断を求めたいが、所見を伺う。

イ 今や学校給食費を無償にしている自治体は、全国で３割になり年々加速している。それは「親の経済的支援をすることで子育てしやすい環境をつくりたい」と自治体が優先して決断していることにある。市にも学校給食費の無償化を求める。所見を伺う。

② 保育園・児童クラブの待機児童解消について

ア 子育て中の親が安心して子育てできるためには、希望する保育園や児童クラブにみんなが入れることが何より重要である。しかし、いまだ希望するところに入れていない現状があり、児童クラブに低学年が入れない状況も生んでいる。この解決のために、要望を丁寧に汲み取り、保育園や児童クラブの増設が求められていると認識しているが、市の所見を伺う。

(5) ぬくもりのある医療・福祉の充実について

① 高齢者の暮らしについて

ア まともな年金が保障されないもとでの物価高騰が、高齢者の暮らしも困難にしている。市として基金を生かし高すぎる国保料1世帯1万円の引き下げや、介護保険料の思い切った軽減といった、サービスの充実を図るべきである。具体的には特別養護老人ホームの増設を求めるが、所見を伺う。

イ 新たな福祉サービスとして「軽度・中等度難聴者補聴器購入助成事業」が始まり、歓迎するものである。しかし、対象者の要件に「市民税非課税世帯または生活保護受給世帯」とあるが、難聴で困っている市民は多数である。この所得制限を外すよう求めるが所見を伺う。

② 訪問介護事業にさらなる独自支援を

ア 昨年4月から国が基本報酬を削減し、事業所の経営を直撃している。中山間地域だけではなく市独自の支援をさらに強化すべきである。所見を伺う。

(6) 防災・減災対策の充実で、安全・安心の出雲を

① 公共事業は防災・減災対策を最優先に

ア 予期せぬ災害が頻発する今、公共事業は不要不急の大型公共工事ではなく、防災・減災対策を最優先に組み立てるべきと考える。所見を伺う。

② 災害発生時の要配慮者への備えについて

ア 「避難行動要支援者が円滑に避難できるよう、個別避難計画の作成を進める」とあるが、現在どのような状況になっているのか伺う。

イ 福祉避難所が設けられているが、市との協議が不十分ではないか。いざ福祉避難所の開設となったとき十分役割を果たせる状況にあるのか、現状を伺う。